

# 議会だより

No.71 2022年8月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 塩谷 寿雄  
●編集：議会広報編集特別委員会

**夏本番！**

**活気あふれるまちへ  
議会も熱い！！**



特集

コロナからの復興へ ..... 2ページ

地下水条例の改正 ..... 3ページ

目次

新ごみ処理施設 一步前進！ ..... 4ページ  
一般質問 15名が市政を質す ..... 5～12ページ

政務活動費報告 ..... 13ページ  
議決結果 ..... 14～15ページ



6月定例会

特集

- ・コロナからの復興へ
- ・地下水条例の改正

6月定例会は6月6日(月)から17日(金)に開かれました。ポストコロナに向けた市独自政策「コロナ復興第1弾」に関する事業などの補正予算審議を行いました。定例会中に議会全員協議会を開き、「南魚沼市地下水の採取に関する条例の一部改正について」の報告を受け、定例会最終日に条例改正の審議を行いました(3ページ)。また、議会全員協議会で「新ごみ処理施設整備事業の進捗状況について」の報告を受けました(4ページ)。

定例会の様子は、録画映像配信でご覧いただけます。



令和4年度南魚沼市一般会計補正予算(第2号) 9億9,193万4,000円

コロナからの復興へ ~コロナ復興第1弾~

令和4年度南魚沼市一般会計補正予算(第2号)では、市から提案された5億円規模のコロナ復興対策事業などが審議されました。

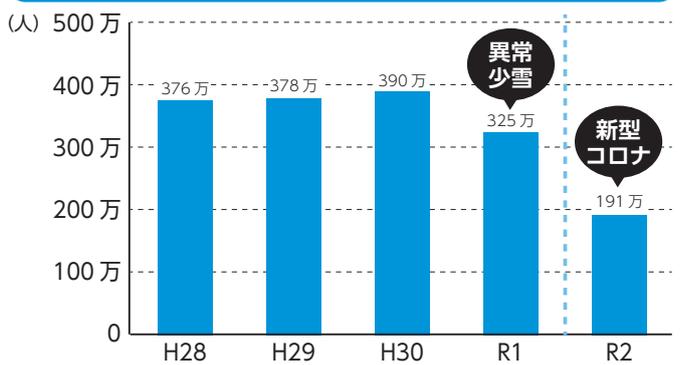
市民向け プレミアム付商品券	夏季合宿誘致 支援事業補助金	ふるさと応援 プレミアム付き旅行券 (雪恋Ⅲ)	市内イベント復興 支援事業補助金
<p><b>予算額3億円</b></p> <p>市民の力による消費需要を喚起する!</p>	<p><b>予算額1,000万円</b></p> <p>コロナでできなかった合宿を誘致する!</p>	<p><b>予算額1億7,000万円</b></p> <p>宿泊業・観光業を中心に需要の喚起と相乗効果を狙う!</p>	<p><b>予算額2,000万円</b></p> <p>開催ができなかったイベントの再開を後押しする!</p>

質疑応答

Q&Aは一部のみ掲載しています

- Q** 夏季合宿誘致支援事業の内容は。
  - A** 市内の宿泊施設を利用しながら、合宿活動で市内の体育施設を利用する場合、施設使用料を免除する。
- Q** 市内イベント復興支援事業補助金の対象範囲は。
  - A** 参加費を継続して取れる見込みのある観光誘客イベントを想定している。
- Q** プレミアム付商品券だが、前回は世帯単位で冊数を決めていたが、今回は、1人2冊となっている。その理由は。
  - A** 消費活動が活発な世帯に多く配分されるようにした。
- Q** プレミアム付商品券は、大型ドラッグストアなどでも使えるようにすることのだが、疲弊した経済を活性化させるという事業の目的との整合性は。
  - A** 物価上昇で困っている市民への支援を考慮した。

市の観光客の推移



2021市勢要覧データ編 より

- Q** 夏季合宿誘致支援で施設使用料の免除を受ける人たちにも雪恋Ⅲの旅行券が使えるようにすべきでは。
  - A** 公平性に配慮しながら、現在検討中である。
- 新型コロナウイルスでまつりやイベントが開催されず、学生の合宿もなくなるなど、市の観光客は激減しました。

コロナ対策は内容だけでなく、適切なタイミングで支援ができるよう議会でも考えていきます。

議会全員協議会を経て議案上程！

# 南魚沼市地下水の採取に関する条例の一部改正について 賛成多数で可決！！

賛成  
19人

反対  
2人

## 主な改正内容

※一部のみ掲載しています

①既にある井戸を改修（掘り替え・揚水機交換）する場合、同等の規格で更新できる

	現行	改正後
住宅	吐出口径 ・重点区域 φ32mm以下 ・その他区域 φ50mm以下	両区域とも既設の口径以下 (ただし、重点区域はφ50mm以下)
事業所	吐出口径 φ50mm以下 (重点・その他区域共通)	既設の口径以下 (複数本の集約も可)

**Point** 改修しても今と同じ地下水量を確保することができる！

②許可水量に対する揚水機の吐出口径およびケーシング口径の基準は見直しへ

現行			改正後		
許可水量	吐出口径	ケーシング口径	許可水量	吐出口径	ケーシング口径
40L/分 まで	φ25mm 以下	φ150mm 以下	20L/分 まで	φ25mm 以下	φ150mm 以下
40L/分～ 80L/分	φ32mm 以下		20L/分～ 70L/分	φ32mm 以下	
80L/分～ 160L/分	φ40mm 以下	φ200mm 以下	70L/分～ 120L/分	φ40mm 以下	φ200mm 以下
160L/分～ 280L/分	φ50mm 以下		120L/分～ 220L/分	φ50mm 以下	

**Point** 設置工事での支障やメーカーの製品仕様から、より実情に合った基準になる！

南魚沼市地下水の採取に関する条例の改正から5年を経過したことから、現状の課題を整理し、一部見直しを行いました。

現条例では、井戸の掘り替えまたは揚水機交換などの改修の際に、既設の井戸規格と同一の規格での更新を一律には認めていません。改修内容によっては、揚水機の吐出口径等を縮小せざるを得ない場合があります。従前の地下水量が確保できなくなることに伴い、場合によっては、当該地での事業の継続や安全な生活の維持に支障が生じる恐れがあるため、条例の一部改正が提案されました。

## 議会全員協議会

(令和4年6月6日)

## 質疑応答

Q & Aは一部のみ掲載しています

**Q** 間欠機能付き降雪検知器の設置についての補助金は終了となったが、ポンプ交換や掘り替えに限定して、継続していくべきだと思いが。

**A** 間欠機能付き降雪検知器の効果はあると思うが、いつまでも補助金で対応していくという考えはない。

**Q** 平成29年の条例改正による規制緩和後、新規の井戸がかなり増えた。今後も掘り替えなどについては、既存の条件でよいとすれば、揚水量は当然増えることになるが、地盤沈下が進むことへの不安はないか。

**A** 前回の改正のときには、10年程度は様子を見ないと分からないとの説明であった。改正後5年過ぎた今、地盤沈下の様子は落ち着いている。その検証を続けながら、今後の方向性を探っていきたい。

## 質疑応答

Q & Aは一部のみ掲載しています

**Q** 地盤沈下は終わらず、今後も沈下と共存していかなければならない。今までの節水に対する配慮が必要と思うが。

**A** 平成29年の条例改正から、間欠機能付き降雪検知器の普及を目指してきた。今でも十分とは言えないが、降雪検知器の適切な利用・活用の周知を図っていきたい。

## 討論

**反対** 地下水の総くみ上げ量をいかに減らしていくかが重要だ。今回の改正で、重点区域内のくみ上げ量はますます増え、地盤沈下のスピードが増す。重点区域内での不等沈下が起きた場合、市では修復できない。

**賛成** 事業の継続や安全な生活を維持するために、重点区域とその他区域ともに既設の井戸と同等の規格で更新できるバランスの取れた内容だ。

◇第51号議案 南魚沼市地下水の採取に関する条例の一部改正について

その他議案

質疑応答

Q & Aは一部のみを掲載しています。

◇第37号議案 南魚沼市上田雪国スポーツセンター条例の制定について

旧第二上田小学校の体育館を屋内スポーツ施設として整備し、新しい施設の設置と管理についての条例を定めるものです。

Q この施設は室内に人工芝を敷いて、少年野球やサッカーができるということだが、ほかの球技やスポーツができなくなるのでは。

A 市内にはほかの球技やスポーツができる施設は多くある。役割分担をしながら有効利用していきたい。

Q 出入り口や駐車場を除雪し、冬季も利用できるようにするのか。

A 体育館は避難所にも指定されているので、その機能を損なわない形での改修工事を予定している。避難所の出入り口の確保は当然の義務である。それらも同時に役割を確保しながら進めていく。

Q ほかの施設にない特色は。

A 壁面、天井にネットを張って、打球が飛ぶ野球やテニス、強い力で蹴るサッカーなどが、この室内練習場で可能になる。



新ごみ処理施設「歩前進！」

議会全員協議会（令和4年6月7日）

新ごみ処理施設整備事業の進捗状況について

市の説明

可燃ごみ処理施設の老朽化に伴う新施設の整備は、大きな課題でした。

このたび、地元関係行政区の多大なるご理解を賜り、現在の島新田市内の処理施設の隣接地に、新可燃ごみ処理施設を建設することに対し、現施設の地元関係行政区である島新田区、上十日町区、三郎丸区から、基本的なご理解をいただき、具体的な検討へと進むことになりました。

これまで約60年の長きにわたり、廃棄物処理施設の立地を受け入れていただき、多くのご迷惑や負担感にもかかわらず、再度の立地についてご理解をいただいたことについて、深く敬意を表し、心より感謝いたします。

質疑応答

Q & Aは一部のみ掲載しています

Q 今後の具体的なスケジュールは。

A これから地元関係行政区と協議していくが、通常であれば完成までに8年ほどかかり、その多くを環境アセスメントが占めている。

※環境アセスメントとは、大規模開発事業による環境への影響を事前に調査することによって、予測、評価を行う手続のこと。

新ごみ処理施設の建設予定地



よりよい施設整備へ期待！

「地域とともに造る」と市長が明言する中、議会として、地域の廃棄物処理行政がどのように進展していくかを今後も注視していきます。

◇第50号議案 一般会計補正予算（第3号）

●広域ごみ処理施設建設事業費 1,000万円

建設予定地が決定したことにより、計画策定のための補正予算が上程されました。

質疑応答

Q & Aは一部のみ掲載しています

Q 大型プロジェクトでもあるし、専門家や財政課を入れた新プロジェクトチームをつくり、その中で工程を決めてからコンサルタントに委託を出すべきでは。

A これから細かいところについて、庁内で連絡を密にし、予定どおりコンサルタントに委託しながら進めていく。今のところ新プロジェクトチームについては考えていない。



# 一般質問

Q & Aは一部のみを掲載しています。

## ■質問順位

1. 塩川 裕紀
2. 桑原 圭美
3. 永井 拓三
4. 吉田 光利
5. 中沢 道夫
6. 寺口 友彦
7. 中沢 一博
8. 黒岩 揺光
9. 勝又 貞夫
10. 川辺きのい
11. 目黒 哲也
12. 梅沢 道男
13. 田中せつ子
14. 大平 剛
15. 佐藤 剛

## 一般質問とは・・・

**議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いただすもの。**

各議員の氏名の下QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。



通告書はこちら



南魚みらいクラブ

塩川 裕紀



### アスリート支援の取組は

**答** かつてないアスリート支援が始まっている

**Q 質問** 市出身アスリートの活躍は目覚ましいものがある。環境整備と支援に積極的な取組が必要では。

**A 市長** 練習環境を提供するといふ立場から、モンスターパーク、トレーニングセンター、スケートパークが効果を上げてきている。市民の健康、福祉の向上を含めたアスリート支援の流れをフォローしていく。

**Q 質問** 活動費としてかかる多額な費用に対する支援の考えは。

**A 市長** 資金集めが大変だとよく聞く。市でできることがもつとあるのではないか。企業や民間任せだけでよいのか、考えるべき時期が来ていると思う。

**Q 質問** 市の資産であるジャンプ台の活用を含めた五日町スキー場の有効活用の考えは。

**A 市長** 五日町ジャンプ台は老朽化が著しく、費用対効果や今後の競技人口を考えると難しいが、ここを守り切ることが、非常に重要なことだと思っている。

### 障がい者福祉施設的环境整備を

**答** 課題解決に向けて継続的に取り組んでいく

**Q 質問** 南魚沼地域の障がい福祉サービスは、重度障がい者を受け入れる施設が大変不足している。学校卒業後の通所施設や、重度障がい者施設整備の考えは。

**A 市長** ただ施設があればよいというわけではない。高い専門性と事業経験なども重要視される。この地域で安心してサービスを利用できるよう、事業所と一緒に課題解決に取り組んでいく。



南魚みらいクラブ

桑原 圭美



SDGsに基づく子供の  
貧困解消と教育は

**答** 目標を定めて子どもの貧困対策推進計画を策定する

**Q 質問** 子供の貧困の実態把握をしているか。

**A 市長** 調査をしていないため貧困の実態を把握していないが、常に見守ることが大事だと考えている。

**Q 質問** 当市のヤングケアラーの実態を把握しているか。

**A 市長** 要保護児童対策地域協議会事務局で、学校等の関係機関の訪問を行っており、家庭環境に課題のある児童生徒の把握に努めている。事例があれば、いつでも行政につないでいただきたい。

**Q 質問** 親の貧困の解消に対する支援について、市の施策はあるか。

**A 市長** 子供だけを支援しても貧困の解決にはならない。家庭を総合的に支援する必要がある。市では関係する部署が連携して支援する体制を整えている。特に、ひとり親家庭には自立支援事業を実施して、資格取得の支援を行っている。

**Q 質問** 質の高い教育の確保をどう進めるのか。

**A 教育長** 南魚沼市教育基本計画における各分野の基本方針において、対応するSDGsの目標を明示して、それぞれ数値目標を設定している。それは、現状を踏まえた質の高い教育を目指した具体的なものとなっている。子供たちが自らの意思により、社会に参加しようとするとき、貧困やヤングケアラーなどを理由に諦めることがないよう、未来や社会との関わりを思い描けるようなキャリア教育の充実に取り組む。

**Q 質問** 積極的に利用推進を図る

夏季の八海山麓スキー場の  
利用促進案はあるか

**答** 積極的に利用推進を図る

**Q 質問** キャンプ場の機能を付随させる考えはあるか。

**A 市長** 昨年実施した「アクティブサンロックサマー」では、日帰りキャンプ場として利用する新たな取組をした。



昨年の様子

**Q 質問** 自転車を使ったアクティビティーと連動させる利用案はあるか。

**A 市長** 観光名所についての多言語のセルフ音声ガイドアプリ

未来創政会

永井 拓三



リを充実させ、自転車アクティビティーとの連動を考えたい。

南魚沼市のコロナ後の  
観光復興政策は

**答** 復活に向けて力を注ぐ

**Q 質問** 国内旅行の行き先として選ばれるための政策はあるか。

**A 市長** 様々な分野を横断的にPRし、地域ブランドの造成をしていく。販売、体験、交流をDMOに任せて地域プロモーションを行っていく。

**Q 質問** 今後増える見込まれる海外からの旅行者へ、どのような地域プロモーションを行うか。

**A 市長** 音声ガイドアプリの整備、PR動画や美しい南魚沼を紹介するパンフレットの作成などを行い、そのデジタル化を進めている。



南魚みらいクラブ

吉田 光利



デジタル技術を活用するDXの推進策は

答 推進体制を整え、今年中に推進計画の公表を目標とする

Q 質問 デジタル人材の確保と育成の考えは。

A 市長 市のデジタル人材の確保は大きな課題となっている。即戦力となる民間経験者や有資格者を採用するだけでは難しく、内部育成の両面から考えたい。

I T企業が提供する研修、講座に参加し高度な専門知識習得を進める。短期での習得は難しく、中長期での人材育成も大切であると考えている。

Q 質問 国の昨年度補正予算のデジタル田園都市国家構想推進交付金で、上越市、津南町、燕市、三条市、佐渡市が申請し認められている。積極的に申請すべきと思うが、市はなぜ申請しなかったのか。

国の昨年度補正予算のデジタル田園都市国家構想推進交付金で、上越市、津南町、燕市、三条市、佐渡市が申請し認められている。積極的に申請しなきゃと思うが、市はなぜ申請しなかったのか。

A 市長 重要なこととは認識しているが、他にやるべきことがたくさんあること、取り組む事業が明確になっていないためである。今後、目的を明確にし、絞り込んで考えていく。

A 市長 重要なおことは認識しているが、他にやるべきことがたくさんあること、取り組む事業が明確になっていないためである。今後、目的を明確にし、絞り込んで考えていく。

Q 質問 デジタル技術で業務の効率化を図るAIやRPAの導入状況は。

A 市長 昨年度、ふるさと納税業務でRPAにより業務時間を580時間削減でき、効果があった。今年度、議会の議事録作成にAI、税務課の入力業務にはRPAの導入を検討している。

Q 質問 友好都市である江戸川区では、虐待の相談業務に1月よりAIを導入し、虐待の早期発見に努め、効率化を図っている。現地視察を検討してはどうか。

A 市長 よい事例に対して、現地に出向くことは大事である。担当課に促していきたい。



日本共産党議員団

中沢 道夫



深刻な物価高騰から市民の暮らしを守る取組を

答 市民生活を守るため積極的に取り組んでいく

Q 質問 3年目になったコロナ禍で、市民の暮らしや経済がどのような影響を受けていると捉えているのか。

A 市長 外出の自粛、休校、休園などで日常生活への制限、施設の休止、営業時間の短縮、休業要請による売上げの減少、個人所得の減収、伝統行事などの存続が難しくなった。学業と暮らしの両面で学生生活に支障が出るなど、様々な影響が出ていると考えている。

国のコロナ禍における原油価格・物価高騰対応分の地方創生臨時交付金を、どのように活用して市民生活を支援しているのか。

国のコロナ禍における原油価格・物価高騰対応分の地方創生臨時交付金を、どのように活用して市民生活を支援しているのか。

A 市長 3億1,500万円が追加配分となった。これまで取り組んできたコロナ経済対策を全庁あげて考察し、活用方法を検討していく。

A 市長 3億1,500万円が追加配分となった。これまで取り組んできたコロナ経済対策を全庁あげて考察し、活用方法を検討していく。

Q 質問 物価高騰で消費税の負担が重くのしかかっている。消費税を5%に引き下げよう国に求める考えはないか。

A 市長 消費税減税は慎重な議論が必要だ。国の大きなテーマであり、国政において議論されるべきものと考えている。

Q 質問 国保税も耐えがたい負担になっている。未就学児の均等割半額軽減の対象年齢を拡大する考えは。また保険税の軽減を行う考えはないか。

A 市長 国の軽減、減免制度に沿って行っている。それ以上の、市独自の考えはない。



市民クラブ

寺口友彦



市民意見に対する回答は科学的調査を基にしたのか

答 今回のための科学的調査はしていない

南魚沼市地下水の採取に関する条例の一部改正のブリックコメントの意見に対する回答で、60メートル以深から取水することで沈下抑制が期待できるとあるが、科学的調査を行った上で回答か。

A 市長 平成29年の条例一部改正時に、3人の有識者からこれまでの市の調査資料を基に、深い部分からの取水のほうが地盤沈下に与える影響が少なくなる可能性があると意見をもらった。これが学術的調査に値すると判断し、60メートル以深から取水することで、地盤沈下の進行抑制に一定の効果も期待できると考えている。

障がい児福祉サービス事業所の再開を急いで

答 市も事業所も一緒になって取り組む

障がい児福祉計画では、発達障がい支援がうたわれている。五日町の児童発達支援・放課後等デイサービス事業所が休止となった理由をどう捉えているか。事業所再開に向けてどう取り組むのか。

A 市長 令和3年に開設されたが、職員と理事長の方向性の違いやサービス事業管理者の退職もあり、今年の2月に休止となった。当初より専門職員の確保には不安があり、職員のスキルアップにも協力してきた。休止中ではあるが、自立支援協議会子ども部会にも出席してもらっている。情報共有しながら早期の再開に向けて、市も熱意を持って取り組んでいる。



未来創政会

中沢一博



物価高騰への緊急対策支援策を急げ

答 検討を進めている

小中学校や保育園の給食費の保護者負担軽減や、介護・障がい者福祉施設の支援の考えは。

A 市長 保育園は低所得者や第3子以降は給食費が免除となっている。学校給食はほかの地域から見ると安価であるが、早急に検討しなければならぬと考えている。介護福祉施設等についても十分検討したい。

水道料金負担軽減の考えは。

A 市長 水道料金の基本料金を半額にした場合、1か月2、700万円程度必要である。現在は考えていない。

Q 質問 農業者への支援が急務と考えるが。

ヤングケアラー支援の強化を

A 市長 肥料の高騰に対する支援は考慮が必要だ。

答 総合的に考え、関係機関と連携し支援していく

家族の看病や介護などを日常的に行うヤングケアラーへの支援が求められている。政府の発表によると中学2年生では約17人に1人、高校2年生では約24人に1人、小学6年生の約15人に1人が世話をする家族がいるとの調査結果が出された。小さな体で重い負担を背負い、人知れず孤立する子供がいるとの実態に、市の具体的な取組は。

A 教育長 一人一人と面談し、家族構成を考慮し、相談には丁寧に取り組む。



無所属

黒岩 揺光



「女はやかましい」などの蔑視発言を許すな

答 男女共同参画に向けた市の取組が不十分であった

Q 質問

行政区の女性役員を増やすために、市が行政区長を対象に昨年実施したアンケートで、「女は普段やかましい」などの蔑視的回答があったが、4月に聞かれた行政区長会の資料にそのまま公表したのは適切だったか。

A 市長

まだ蔑視的な回答が出てくる。そのまま公表することで、固定観念に打ち勝とうという意味を込めた。

Q 質問

4月の行政区長会で、市は何も見解を示さなかったが、今後、この結果をどうやって市民に伝えていくのか。

A 市長

今後、市民との座談会などで触れるかもしれない。

子育てがしやすいまちづくりを

答 大型の遊戯施設の建設を検討したい

Q 質問

子育ての駅「ほのぼの」は、他の近隣自治体の施設より規模が小さく利用人数が少ない。なぜ、「ほのぼの」は小さい施設に設計したのか。

A 市長

平成27年に市民に実施したアンケート結果を参考にし、利便性を重視した。

Q 質問

アンケートの詳しい中身を教えてください。

A 市長

市長就任前のことで、見ていないから分からない。

Q 質問

近隣自治体にあるような大型遊戯施設は造れないか。

A 市長

湯沢町にも造られるというところで、検討したい。



歩む会

勝又 貞夫



事業創発拠点を利用しやすくできないか

答 課題が出てくれば、その時点で検討していく

Q 質問

新しい発想や人材交流が生まれ環境を備えた、南魚沼市事業創発拠点が4月1日に、六日町駅構内に開設された。この拠点の現時点における利用状況はどうか。

A 市長

4〜5月の2か月で60人、1日平均で約18人の利用があった。貸切りやイベント等での利用や、内覧の訪問もある。個人会員3名、法人会員2社の登録があり、固定のファンが少しずつ増えてきて、幅広い年齢層から利用いただいている。さらなる利用拡大に向け、努力していきたい。

Q 質問

より多くの市民から利用してもらうためには、もっと利用しやすく、土・日曜日にも使えるようにするべきだと思

し、夕方5時までという時間設定も考え直すべきではないか。

答 始めて2か月がたち、様々な意見がある。今後どうするべきか検討し、弊害があれば是正する方向でやっていきたい。

Q 質問

AIクラブやグローバルITパークの事業についても、事業創発拠点を窓口としたらどうか。そうすることで、それぞれの事業をリンクしやすくなり、互いの事業において、相乗効果が期待できるのではないか。

A 市長

この拠点の大きな役割が人材交流で、様々な交流が生まれるような仕組みを検討している。AIクラブの事業を含め、積極的に活用を進めたい。グローバルパークについては、すぐに連携できる取組はないが、今後、相乗効果を期待できるような企画・立案を仕掛けていきたい。



日本共産党議員団

川辺きのい



ロシアによるウクライナ  
侵攻に伴う影響は

【答】 国がしっかり対応するべきだ

【質問】 戦争で原発が攻撃対象となることが現実となった。「脱原発」が最も安全な道では。電力の安定供給なくして原発の議論は無責任である。

【A 市長】 食料自給率の向上と農業振興に取り組みむときは。取り組み始めているが、進まない。市だけではなく、国全体で考える問題だ。

【質問】 食材が高騰し、学校給食費の値上げが検討されている。義務教育は無償の観点で、段階的にも無償化に向けて踏み出すときではないか。

【A 市長】 今年度中の値上げはできないと思っている。現在、保護者負担は材料費のみであり、タグという議論だけでよいのか。

新型コロナ感染症対策は

【答】 国・県からの通知に基づいて実施している

【質問】 繰り返し返されるクラス閉鎖で、保護者や家族が仕事を休まなければならない現実をどのように認識し、対策を講ずるのか。

【A 市長】 保護者の大きな負担となっていることはそのとおりだが、このことによって感染が顕著な拡大にならなかつたとも思っている。国・県の方針もあり、協力をお願いせざるを得ない。

【質問】 感染者が一桁台で推移している今、一日も早い収束に向け、濃厚接触者全員のPCR検査を実施し、無症状の陽性者を正しく療養させることが重要ではないか。

【A 病院事業管理者】 濃厚接触者の対応は県の対応であり、市の対応ではないのでできない。



南魚みらいクラブ

目黒哲也



住民サービス向上への取組は

【答】 職員が一丸となって、様々な取組を行っている

【質問】 市民の利便性向上と業務の効率化の観点から、マイナンバーカード普及への取組は。端末機や専用電話回線を増やし、会計任用職員も6名増員した。また申請窓口を水曜日は月2回19時半まで時間延長し、月2回日曜日の午前も受付をしている。行政区や企業への出張申請もしている。

【A 市長】 医療・介護連携と地域包括ケアシステムを推進するため、うおぬま・米ねつとの加入者を増やす取組は。ワクチン接種会場で、米ねつとのPRをしている。また介護保険申請受付時に加入を勧めている。介護サービス事業所にも加入促進のお願いをしている。

【質問】 障がい者雇用への取組は。現在、ハローワークを中心に取り組んでいる。当市の障がい者雇用率は全国や県の平均を上回っている。今後も就労継続支援B型事業所で多岐にわたる作業訓練等を実施しながら、就労移行支援を行う。自立支援協議会等と協力し、就労定着支援や就労後のサポートをしていく。

【A 市長】 本庁舎の整備計画は。昭和54年に建設され43年が経過している。現在、空調・給排水・電気等の内部設備に大きな改修が必要となっている。また駐車場や会議室の不足が顕著になっている。ただ山積する課題がある中で、最優先課題にするにはまだまだである。市民サービスの向上、市の将来の発展、防災拠点となるため総合的に将来の青写真を描いていきたい。

【質問】 障がい者雇用への取組は。現在、ハローワークを中心に取り組んでいる。当市の障がい者雇用率は全国や県の平均を上回っている。今後も就労継続支援B型事業所で多岐にわたる作業訓練等を実施しながら、就労移行支援を行う。自立支援協議会等と協力し、就労定着支援や就労後のサポートをしていく。



市民クラブ

梅沢道男



コミュニティ・スクール  
導入と多忙化解消を

答 導入が現場の多忙化とならな  
いように丁寧に進めたい

Q 質問 コミュニティ・スクール  
制度は、子供たちにとって  
も様々な成果が期待される。

しかし、多くの難しい取組も必  
要なため、サポート体制が重要に  
なるが、導入に向けた課題につい  
て伺う。

A 教育長 導入に向けた課題は、制  
度の周知や組織づくりなど  
の準備を着実に進めていくことだ。

既に学校だよりなどで、令和5年  
度からのコミュニティ・スクール  
の導入をお知らせしている学校も  
ある。

Q 質問 コミュニティ・スクール  
の導入には、教職員の多忙  
化解消も含め、教育委員会が中心  
となった指導体制の充実が重要だ  
と思うが、考えを伺う。

現場の多忙化が増すこと  
のないよう、各学校が見通  
しを持って取り組めるように、教  
育委員会が全体の導入スケジュー  
ルを作成し、各学校と協議しなが  
ら準備を進め、コミュニティ・ス  
クールの円滑な定着に努めていく。

Q 質問 何をすることも学校現場の  
負担は避けて通れないと思  
う。魚沼市ではコミュニティ・ス  
クール推進員を中学校区単位に配  
置し、地域との連絡調整やコミュ  
ニティ・スクールに関する事務を  
担当する体制をつくり、4月から  
運用している。これらの取組も参  
考にしながら、今後の導入に向け  
て現場の事務量の軽減等の検討を  
進めていただきたいと思うが、考  
えを伺う。

A 教育長 現場の多忙化が増すこと  
のないようにすることは大  
前提で、大事にしていく。そこは  
丁寧に学校の状況を聞きながら、  
確実に進むようにしたい。

Q 質問 コミュニティ・スクール  
の導入には、教職員の多忙  
化解消も含め、教育委員会が中心  
となった指導体制の充実が重要だ  
と思うが、考えを伺う。

現場の多忙化が増すこと  
のないようにすることは大  
前提で、大事にしていく。そこは  
丁寧に学校の状況を聞きながら、  
確実に進むようにしたい。



市民クラブ

田中せつ子



市民の声に寄り添ったひ  
とり親家庭の支援拡充を

答 課題はあるが検討して、でき  
ることをやる

Q 質問 ニーズ調査が必要だがど  
のように把握しているか。  
児童扶養手当の現況届時  
に面談し、支援につなげる。

A 市長 支援制度等を全てまとめ  
た冊子が必要ではないか。  
必要性を感じており作成  
を始めている。

Q 質問 ひとり親家庭等医療費助  
成の年齢上限を学生であれ  
ば卒業まで延長してどうか。

A 市長 進学を断念した家庭との  
不公平感がある。

Q 質問 ファミリーサポートセン  
ター利用料の無償化を。

A 市長 検討中である。

Q 質問 ヘルパー派遣等の支援拡  
充を。

A 市長 担い手の団体や事業所が  
見つからず、実施の見込み  
が立っていない。

市民の命と健康を守るため  
健康診断受診率向上を

答 住民健診調査票を提出してい  
ない世帯への勧奨が課題だ

Q 質問 健康保険証の種類によら  
ず、現役世代の健康を守る  
ための実態調査と啓発活動は。

A 市長 社会保険は雇用者に義務  
がある。調査・指導は労働  
基準監督署の義務である。

Q 質問 健診施設の移転新築は、  
市民全体の受診率向上につ  
なげられるか。

A 市長 つなげなければいけない。  
不便が生じないよう配慮し、  
満足度も向上させていく。

Q 質問 ヘルパー派遣等の支援拡  
充を。

A 市長 担い手の団体や事業所が  
見つからず、実施の見込み  
が立っていない。

Q 質問 ヘルパー派遣等の支援拡  
充を。

A 市長 担い手の団体や事業所が  
見つからず、実施の見込み  
が立っていない。



未来創政会

おお  
おほ  
大  
平

こう  
剛



今後の消雪パイプ対策は

【答】 中長期的な視点で更新計画を再検討したい

【Q 質問】 令和3年度に消雪パイプに関して、行政区から要望があった総件数とそのうち対応できていない件数は。

【A 建設部長】 紙ベースで残っている総数が184件、そのうち未対応が49件。その理由は、限られた予算の中で緊急性の高いものから対応していることや、冬季に作業できない案件もあるためである。

【Q 質問】 本来、消雪パイプで融雪する区間で機械除雪を行った箇所と延長はどの程度か。

【A 建設部長】 路線30か所、延長11キロメートルである。

【A 建設部長】 費用はどのくらいかかったか。およそ3〜4千万円程度になる。

【Q 質問】 現在、5か年計画で更新を進めているが、計画が完了すれば、消雪パイプ区間は消雪パイプだけで対応可能と予測しているか。

【A 市長】 5か年で終わることなく、続けていくことも含めて想定している。

【Q 質問】 これらの状況を踏まえて、ふるさと納税を原資に5か年程度に期限を切り、消雪パイプの修繕による長寿命化、融雪能力低下箇所の補修などを行う事業を提案したいが考えは。

【A 市長】 消雪パイプの長寿命化、消雪設備の整備については、ふるさと納税の寄附の使い道8コースのうち「安全・快適でうるおいのある生活ができるまちづくりコース」で行っているところもある。また緊急自然災害防止対策事業債も最大限活用しながら行っていく必要があるのではないかと、庁内で検討している。



市民クラブ

さ  
さ  
佐  
藤

つよし  
剛



ドア・ツー・ドアに近い高齢者の新たな移動手段を

【答】 デマンド交通を第一に検討している

【Q 質問】 市民バスができ、公共交通の空白地帯はなくなったが、残念ながら歩行能力が衰えて、バス停まで行けない、日常生活もままならないという高齢者が非常に多くなってきた。しかし、買い物や病院には行かなければならない。高齢ドライバーの絡む交通事故が多いことから、運転免許証の自主返納が推奨されているが、雪国でもあり地方という特徴から、運転免許証は離しづらい。ドア・ツー・ドアに近い新しい交通モードが必要だと考える。

【A 市長】 ワクチン接種で高齢者にタクシー利用でのドア・

【A 市長】 ワクチン接種で高齢者にタクシー利用でのドア・

【Q 質問】 一定条件で高齢者へのタクシー料金助成は、集落の規模や立地によっては有効だが検討できないか。

【A 市長】 ドア・ツー・ドアの交通体系は、今のところデマンド交通を第一に考えている。タクシー料金助成はデマンド導入後の実績で必要性があれば検討する。



令和  
3年度

# 南魚沼市議会政務活動費収支一覧

政務活動費は、議員の調査研究などの活動に必要な経費の一部として市から交付されるものです。南魚沼市では、議員1人当たり月額1万7,000円を半年ごとに会派または議員に交付しています。令和3年度に政務活動費がどのように使われたか、お知らせします。

令和3年4月～10月						
会派名	南魚みらいクラブ (7名)	歩む会 (5名)	未来創政会 (4名)	市民クラブ (4名)	日本共産党議員団 (2名)	計 (22名)
交付額	833,000	595,000	476,000	476,000	238,000	2,618,000
支 出	調査研究費	0	0	54,768	0	54,768
	研修費	0	0	2,330	0	2,330
	広報費	0	0	0	0	226,438
	広聴費	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	0	0
	人件費	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0
計	0	0	57,098	0	226,438	283,536
返還額	833,000	595,000	418,902	476,000	11,562	2,334,464

会派名	内 容
未来創政会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●視察 令和3年7月5日～6日 4人参加 合同会社ミライズ（新発田市）温泉地活性化支援を展開する合同会社ミライズについて フードバンクしばた（新発田市）フードバンク事業、こども支援プロジェクトなどについて</li> <li>●研修 令和3年7月20日～21日 4人参加 第2回市町村議会議員特別セミナー（オンライン） 本当の意味での「健康しが」へ、改めて議会とは何かを考える 人口減少における地方自治体の役割、Society5.0時代の到来と行政デジタル化</li> </ul>
日本共産党議員団	●会派広報紙「市議会報告」発行（第61号、第62号）

令和3年11月～令和4年3月							
会派名等	南魚みらいクラブ (8名)	歩む会 (4名)	市民クラブ (4名)	未来創政会 (3名)	日本共産党議員団 (2名)	黒岩揺光	計 (22名)
交付額	680,000	340,000	340,000	255,000	170,000	85,000	1,870,000
支 出	調査研究費	0	0	0	0	0	0
	研修費	0	0	0	0	0	0
	広報費	0	0	0	0	111,208	106,700
	広聴費	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	40,770	0	0
	人件費	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	40,770	111,208	106,700	258,678
返還額	680,000	340,000	340,000	214,230	58,792	0	1,633,022

会派名等	内 容
未来創政会	●「川本達志先生 動画セミナー 議員力向上研修」4講義 資料・動画データ代
日本共産党議員団	●会派広報紙「市議会報告」発行（第63号）
黒岩揺光（無所属）	●議会報告の発行

# 賛否 一覧表

起立採決によりそれぞれの賛否が明らかにされ、かつ、賛否が分かれた議案について詳細を表示しています。

○=賛成 ×=反対 -=退席 欠=欠席 除=除斥

※議長は裁決には加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります。

※除斥（じよせき）とは、議案と一定の利害を有する議員は、議案審議に参加することができない制度です。

会派	南魚みらいクラブ								歩む会			市民クラブ				未来創政会			日本共産党議員団		無所属		
氏名	目黒哲也	吉田光利	塩川裕紀	清塚武敏	桑原圭美	小澤実	黒滝松男	関常幸	勝又貞夫	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	梅沢道男	田中せつ子	佐藤剛	寺口友彦	大平剛	永井拓三	中沢一博	川辺きのい	中沢道夫	黒岩揺光	
第14号報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×
第35号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×
第38号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第40号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第41号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第42号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第46号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×
第51号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
請願第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×
発議第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×



**総務文教委員会請願審査**  
(令和4年6月7日)

請願第1号  
緊急事態に関する国会審議を求める請願

◆全会一致で採択

請願第2号

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1還元に係る意見書の採択を求める請願書

◆全会一致で採択

**常任委員会  
管内調査報告**

**総務文教委員会**

期日・令和4年4月19日

- ① 通学路の安全対策について（現地調査含む）
- ② ふるさと応援基金の今後の方針について
- ③ 北里大学保健衛生専門学院の現状について

**産業建設委員会**

期日・令和4年4月27日

- ① 建設業人材確保の現状と課題について
- ② 南魚沼産コシヒカリの生産支援と販売促進について

**社会厚生委員会**

期日・令和4年4月20日

- ① 医療のまちづくりについて
- ② 地盤沈下の状況と井戸規制について

# 令和4年6月定例会の全議決結果

(傍聴者 55人 (延べ))

議決結果の詳細は  
ウェブサイトでご覧いただけます→



議案番号	市長提出議案	議決結果
第6号報告	専決処分した事件の承認について(令和3年度南魚沼市一般会計補正予算(第19号))	承認(全会一致)
第7号報告	専決処分した事件の承認について(南魚沼市税条例の一部改正について)	承認(全会一致)
第8号報告	専決処分した事件の承認について(南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について)	承認(全会一致)
第9号報告	専決処分した事件の承認について(南魚沼市介護保険条例の一部改正について)	承認(全会一致)
第14号報告	専決処分した事件の承認について(令和4年度南魚沼市一般会計補正予算(第1号))	承認(賛成多数)
第15号報告	専決処分した事件の承認について(南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について)	承認(全会一致)
第35号議案	令和4年度南魚沼市一般会計補正予算(第2号)	可決(賛成多数)
第36号議案	令和4年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第37号議案	南魚沼市上田雪国スポーツセンター条例の制定について	可決(全会一致)
第38号議案	南魚沼市議会議員及び南魚沼市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第39号議案	南魚沼地域広域市町村圏構成市町の公の施設の相互利用に関する協議について	可決(全会一致)
第40号議案	財産の取得について(消第1号 高規格救急自動車(シャシ・艤装)1台)	可決(賛成多数)
第41号議案	財産の取得について(消第3号 小型動力ポンプ付軽積載車9台)	可決(賛成多数)
第42号議案	財産の取得について(消第4号 水槽付消防ポンプ自動車(水-II型)1台)	可決(賛成多数)
第43号議案	財産の取得について(建備第1号 ロータリ除雪車(2.6m級)1台)	可決(全会一致)
第44号議案	財産の取得について(建備第2号 ロータリ除雪車(2.6m級)1台)	可決(全会一致)
第45号議案	財産の取得について(建備第3号 小形除雪車(1.3m級)1台)	可決(全会一致)
第46号議案	南魚沼市大崎体育館の指定管理者の指定について	可決(賛成多数)
第47号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について(大字塩沢財産区)	同意(全会一致)
第48号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について(小島敏行氏)	同意(全会一致)
第49号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について(池田みね子氏)	同意(全会一致)
第50号議案	令和4年度南魚沼市一般会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第51号議案	南魚沼市地下水の採取に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
議案番号	請願・陳情	議決結果
請願第1号	緊急事態に関する国会審議を求める請願	採択(賛成多数)
請願第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	採択(全会一致)
議案番号	議員発議案	議決結果
発議第5号	緊急事態に関する国会審議を求める意見書の提出について	可決(賛成多数)
発議第6号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	可決(全会一致)
議案番号	動議	議決結果
	黒岩揺光議員の発言の取消しを求める動議(黒岩揺光議員 除斥)	可決(全会一致)

# 9月定例会 予告

次の定例会は8月29日～9月16日の予定です。

## 9月 議会 カレンダー (予定)

8月29日	月	本会議	8日	木	休会
30日	火	本会議	9日	金	本会議 (決算審議)
31日	水	社会厚生委員会	10日	土	休会
9月1日	木	産業建設委員会	11日	日	休会
2日	金	総務文教委員会	12日	月	本会議 (決算審議)
3日	土	休会	13日	火	本会議 (決算審議)
4日	日	休会	14日	水	本会議 (決算審議)
5日	月	本会議 (一般質問)	15日	木	予備日
6日	火	本会議 (一般質問)	16日	金	本会議
7日	水	本会議 (一般質問)			

### 傍聴のご案内

本会議は、9時30分から市役所本庁舎3階議場で行います。どなたでも傍聴できます（ただし、児童の傍聴には議長の許可が必要となります）。詳しくは、議会事務局（☎773-6650）までお問い合わせください。  
※現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴の際はマスクの着用をお願いしています。

## 全国市議会議長会より 自治功労者表彰を受けました



林市長 小澤議員 塩谷議長

小澤 実 議員

(正副議長4年以上在職表彰)

受賞にあたり皆様に感謝申し上げます。コロナ禍では経済活性化や福祉向上に何とか貢献できればという思いでやってきました。今後も市の発展、議会の発展に寄与していく所存です。

(小澤 実)

議会だよりについて  
ご意見ご感想を  
お寄せください。

宛 先

議会事務局 ☎773-6650  
または  
QRコードをご利用ください。



お待ちしております  
おります♪



### 編集後記

新潟地震発生から6月16日で58年、新潟市では津波に備えた避難訓練も行われました。「まさか」の時に「ふだん」から備えることが大事だと思いつく避難訓練。日常の中で「まさか」に備えた暮らしが一番の防災だと教えられます。命を守る協働を、ふだんの暮らしの中に実現できるように議員としても力を尽くしたいと感じるこの頃です。

川辺きのい



### 議会広報編集特別委員

委員長

勝 又 貞 夫

副委員長

黒 岩 揺 光

委員

塩 川 裕 紀

梅 沢 道 男

目 黒 哲 也

大 平 剛

川 辺 きのい